

誰もが活躍できる職場づくりを考えよう

～認知症になっても働きやすい職場を目指して～

- 国の調査によると、将来的に 4 人に 1 人が認知症または認知症予備群になるという推計もあり、認知症は誰もがなり得る身近なものになっています。
- また、近年、少子高齢化の進展による労働人口の不足により、多様な人材の活躍が求められています。
- そこで、あなた自身、または同僚や部下が認知症当事者やビジネスケアラーとなっても、長く働ける職場づくりについて、みんなで考えてみませんか。

<働く世代の認知症に関連する課題>

認知症当事者の 就労継続支援

例えば、こんな支援があれば・・・

早期の
気づき

周囲の
理解

症状の特性に
応じた配慮

- 認知症の理解の促進
(認知症サポーター養成講座、職場内研修等)
- 働きやすい環境づくり
(作業環境の工夫、サポート体制の充実等)
- 症状の特性に応じた配慮
(配置転換、勤務形態の工夫等)

ビジネスケアラー対策 (介護との両立支援)

例えば、こんな支援があれば・・・

両立支援
制度の整備

周囲の
理解

必要な情
報の提供

- 両立しやすい環境づくり
(介護休暇・介護休業等の制度、相談窓口の設置)
- 周囲の理解
(休みやすい雰囲気、同僚のサポート等)
- 両立支援に関する情報発信・研修等

今までの経験をいかして、
出来ることがたくさんあります。



職場に相談できる窓口が
あるので、助かっています！



<認知症サポーター養成講座のご案内>

理解者を
増やす

必要な情報
を得られる

認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」である、「認知症サポーター」を養成する講座を開催しています。企業への講師派遣も可能です。詳しくは、市高齢福祉課までお問い合わせください。

対象:市内在住・在勤・在学の人

内容:認知症の理解(疾患・接し方など)、認知症サポーターの役割 など

費用:無料



お問い合わせ先:四日市市 高齢福祉課 (059)-354-8170

令和7年度 毎日をアクティブに暮らすために

ARUKU+10



「ARUKU+10」を利用して、 健康づくりに取り組んでみませんか？

10分運動するごとに記録をして、「毎日をアクティブに暮らすためにARUKU+10(以下ARUKU+10)」を完成させましょう。条件を満たしてご応募いただいた方全員に、オリジナルクリアファイル(1人最大3枚(3種類)まで)をプレゼントします。さらに、抽選でARUKU+10オリジナルグッズを進呈します。

// ウォーキング、筋トレ、スポーツ…など、楽しみながら身体を動かしましょう! //



対 象

四日市市に在住、または通勤・通学する18歳以上の人

配布場所

各地区市民センター、市民窓口サービスセンター、健康づくり課窓口など

応募方法

インターネット、郵送、ファクス、窓口にて提出
令和8年1月31日(必着)までにご応募ください。

詳しくは、ARUKU+10のリーフレットをご覧ください。

(11月頃から開催開始予定)



発行 四日市市 健康づくり課 電話:059-354-8291